

2018年度 法科大学院

第1期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 60分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

Aは、自己所有の土地甲をAの子Bに贈与し、その所有権移転登記のために、甲の登記識別情報、Aの白紙委任状および印鑑証明書をBに交付した。しかし、Bは、その所有権移転登記をすることなく、白紙委任状の委任事項欄に甲に関する一切の件、また、受任者欄にBと補充し、これをCに呈示して、Cに対し甲を売却し、その所有権移転登記をした。

設問

Bに贈与し、Bに使用させたかったAは、Cに対し、この所有権移転登記の抹消登記手続を請求した。これに対し、Cはどのような反論が可能か。考えられる反論を全て挙げなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)